

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 26 日

福島県知事 殿



提出者

住 所 福島県石川郡平田村大字下蓬田字鹿ノ子53番地

氏 名 株式会社生田目産業

代表取締役 生田目 信一

電話番号 0247-55-2522

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社生田目産業
事業場の所在地	福島県石川郡平田村大字下蓬田字鹿ノ子53番地
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業（総合建設業）
② 事業の規模	令和5年度実績 178,000千円
③ 従業員数	13人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	工事→産業廃棄物処理業者へ搬入、処理委託

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制制図)	
<p style="text-align: center;">【代表取締役】 ↓ 【各工事現場責任者】 (産廃管理、処理業者の選定、廃棄物管理票の交付、その他関連事項) ↓ 【廃棄物担当】 (委託契約書の作成・産業廃棄物管理票の集計、その他関連事項)</p>	
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	
【前年度（5年度）実績】	
産業廃棄物の種類	がれき類
排出量	947.5 t
がれき類（石綿含有産業廃棄物）	1.47 t
①現状 (これまでに実施した取組) 重機・手選別による分別解体の徹底	
【目標】	
産業廃棄物の種類	がれき類
排出量	850 t
がれき類（石綿含有産業廃棄物）	1.2 t
②計画 (今後実施する予定の取組) 分別解体の徹底と発生廃材量の削減	
産業廃棄物の分別に関する事項	
(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
①現状	がれき類、木くず、廃プラ他 フレコン等に手作業で種類分け、または重機にて分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今後も分別に努める

木くず	廃プラスチック類	がれき類・コンクリートくず・ 陶磁器くず	建設系混合廃棄物
32 t	2.88 t	15.71 t	11.79 t

木くず	廃プラスチック類	がれき類・コンクリートくず・ 陶磁器くず	建設系混合廃棄物
27 t	2 t	13 t	10 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項  
(第3面)

		【前年度 ( 5 年度) 実績】									
		産業廃棄物の種類- 自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量 (これまで実施した取組)	がれき類	がれき類 (石綿含有 産業廃棄物)	木くず	廃プラスチック類	ボカくず・コンクリートくず・ 陶磁器くず	建設系混合廃棄物			
①現状			—	—	t	—	t	—	t	—	t
②計画		【目標】 産業廃棄物の種類- 自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	がれき類	がれき類 (石綿含有 産業廃棄物)	t	—	t	—	t	—	t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		【前年度 ( 5 年度) 実績】									
①現状		産業廃棄物の種類- 自ら熟回取を行った 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量 (これまで実施した取組)	がれき類	がれき類 (石綿含有 産業廃棄物)	木くず	廃プラスチック類	ボカくず・コンクリートくず・ 陶磁器くず	建設系混合廃棄物			
			—	—	t	—	t	—	t	—	t
②計画		【目標】 産業廃棄物の種類- 自ら熟回取を行う 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	がれき類	がれき類 (石綿含有 産業廃棄物)	木くず	廃プラスチック類	ボカくず・コンクリートくず・ 陶磁器くず	建設系混合廃棄物			
			—	—	t	—	t	—	t	—	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（5年度）実績】		【前年度（5年度）実績】		【前年度（5年度）実績】		【前年度（5年度）実績】	
産業廃棄物の種類	がれき類	がれき類	がれき類 (石綿含有産業廃棄物)	木くず	廃プラスチック類	木くず	廃プラスチック類
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した取組)	—	—	—	—	—	—
②計画	【目標】 産業廃棄物の種類 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)	—	—	—	—	—	—
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		【前年度（5年度）実績】		【前年度（5年度）実績】		【前年度（5年度）実績】	
①現状	産業廃棄物の種類	がれき類	がれき類 (石綿含有産業廃棄物)	木くず	廃プラスチック類	木くず	廃プラスチック類
	全処理委託量	947.5	1.47	32	2.88	32	11.79
	優良認定処理業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—
	再生利用業者への処理委託量	947.5	—	32	—	32	—
	認定焼戻業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—
	認定焼戻業者以外の焼戻業者への処理委託量	—	—	—	—	—	—
	(これまでに実施した取組) 重機・手選別による分別解体の徹底						

【目標】								
産業廃棄物の種類	がれき類	がれき類 (石綿含有産業廃棄物)	木くず	廃プラスチック類	ガラス・コンクリートくず・陶磁くず	建設系混合廃棄物		
全処理委託量	850 t	1.2 t	27 t	2 t	13 t	10 t		
特定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	
再生利用業者への処理委託量	850 t	t	27 t	t	t	t	t	
特定回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	
特定回収業者以外の処理委託量	t	t	t	t	t	t	t	
②計画	(今後実施する予定の取組) 重機・手選別による分別作業解体の徹底							
※事務処理欄								

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。